



Think Globally! Challenge for your Career!
外国留学中間レポート



留学中のみんなから、中間レポートが届きました!



2021 FALL 発行



外国留学中間レポート 2021 FALL

目次

アメリカ	ウイバー州立大学	
	マネジメント創造学部 特別留学コース 3年	2
イギリス	リーズ大学	
	文学部 人間科学科 3年	3
	マネジメント創造学部 特別留学コース 2年	4
韓国	東義大学	
	法学部 法学科 2年	5

ウイバー州立大学（アメリカ）
マネジメント創造学部 特別留学コース 3年
【交換留学】留学期間：2021年8月～2022年4月

ユタ州オグデンに位置するキャンパスは自然が豊かで、9月に入ると秋らしい色に変化している広大な山を眺めることができます。シャトルバスを使い、キャンパスから8分で着く大学寮（ユニバーシティビレッジ）からも見えるので、いつも部屋の窓から見て癒されています。自分を含めて4人でリビングとキッチンを共有しているのですが、それぞれがルールを守り快適な生活ができています。スーパーが歩いていける距離にあるので、車が無くても安心して食料や生活用品を手に入れることが可能です。また、30分に1回薬用リップで唇を潤わしておかなければいけないほどこの地域は乾燥しているので、保湿が欠かせません。10月中旬から、冬が突然やってきて、ブーツでないと外を歩けなくなります。



時間割は、月曜日から金曜日まで毎日授業があります。火曜日を除き、それ以外の曜日は午前中に授業が終わるので、午後からの時間を自習に当てることができます。図書館やキャンパス内の屋外テーブルを利用してほぼ毎日出る課題をこなしています。教授が授業中に話している内容をすべて理解することが難しいのですが、ルームメイトや教授にも積極的に質問して、授業に置いて行かれないように努めています。8月25日から学校が始まり、慣れないことばかりで、もう少し時間を有効活用できたと思うことも多くありますが、充実した学校生活を送れています。

放課後や週末は、アメリカンフットボール、サッカーやアイスホッケーなど多くの部活が試合を行っています。スポーツが好きな自分にとって、アメリカならではの熱狂的な雰囲気と共にスポーツの観戦を楽しんでいます。また、新しいスポーツにも挑戦してみたいという気持ちがあったので、初心者ですがラクロス部に入部しました。月、水、土曜日の週3日で練習を行っています。定期的に試合も行われるので、練習よりも実践を通して学ぶことが多いような気がします。コーチやチームメイトのみんなが優しく教えてくれるので、初心者の生徒に対して居心地の良い環境を作ってくれています。勉強だけでなく体を動かし、バランスの取れた健康的な生活を心がけています。

大学での勉強も大学外で行われる活動の機会も逃すことなく、これからもより多くの貴重な経験をしていきたいと思います。



リーズ大学（イギリス）
文学部 人間科学科 3年
【交換留学】留学期間：2021年9月～2022年6月



私がイギリスに来て二か月弱が経ちました。この中間報告書では留学前に抱いていた英国留学のイメージと、実際に留学中に感じているギャップについて書きたいと思います。私がリーズ大学を選んだ理由は、世界中から生徒が集まり多様な人種、価値観を持った人々がいることと、世界の中でもトップレベルの大学であり学生の質が高いことと、言語が英語であることの三つです。

まず一つ目の多様性は想像していた通りで、とても多くのことを吸収できています。多くの留学生と出会い、お互いの国についての印象を話したり、その国独特の料理を作りあったりと、楽しい時間を過ごせています。しかし楽しいだけではなく、やはり人種の壁があるということを感じます。大学の構内を見ると大抵のグループは同人種で集まっています。人種差別という概念は若者の間でタブーにされ持っている人は少なく感じますが、多人種と関わることに慣れている人はまだまだ少ないのではないかと感じます。

二つ目の他の生徒の質についてですが、日本の尺度では全く計ることができないというのが率直な感想です。私のイメージでは生徒たちは毎日図書館に行って勉強していると思っていましたが、実際は特に一年生の生徒は、ほとんど毎日夜遅くまで遊んでいます。日本の尺度で考えると、勉強に対する姿勢や真摯さが大切だと考えますが、こちらではテストにパスできる実力があればいいという感じがします。



最後に言語の学習の面に関しては、やはり想像していたように上手くはいきません。イギリスには56以上のアクセントがあり中にはとても難解なものもあります。また人間が相手なのではっきり話す人やぼそぼそ話す人いろいろな人がいます。加えて日本人とは会話のペースが違い会話をするだけで、とても苦労するときもあります。少しネガティブなことが多くなってしまった気がしますが、全体を見ると生活にも慣れ、良い友人にも恵まれとても楽しく過ごしています。これで中間報告を終わります。



リーズ大学（イギリス）
マネジメント創造学部 特別留学コース 2年
【交換留学】留学期間：2021年9月～2022年6月

9月14日に日本からリーズに出国し、20日まで自主隔離をした後27日から授業が開始されました。私の生活ルーティンとしては、朝の6時半からフラットメイトと大学内にあるジムに行ってから授業を履修し、課題や授業準備を放課後にするという生活をしています。休日は課題をすることもありますが外に出かけることが多いです。

前期の授業は法律や移民問題などを取り扱いながらグローバルゼーションについて学ぶ授業、アイデンティティーや差別問題に関する授業とリーダーシップ論に関する授業の3つを履修しています。これらの授業の中には、私の両親と同じぐらいの方もいらっしゃるの幅広い方々の経験談や考え方に触れることができ貴重な機会です。また、リーズ大学の授業形態はCUBEと少し違います。CUBEでは、教授が授業前に資料を配布し、課題によって内容を深く理解します。しかし、リーズ大学の授業では基本的にほとんどのことを予習で行います。授業までに自分で資料やスライドを読み、映像を見て授業内容を理解した上で授業に参加します。他の生徒と自分の経験や考えを共有することが授業の主な目的です。最初はこのシステムに戸惑いましたが、今では議論や発表を楽しめるようになりました。



私は大学寮で生活しており、イギリス出身のフラットメイトが6人います。一緒に夕食を食べたり、カフェに行ったりします。会話の中に入ることができますが、話すスピードが速いと感じることもあります。それぞれの出身地のアクセントを聞くことができるので、良い英会話レッスンになります。また、この留学が私にとって初めての一人暮らしです。自分の好きなものを食べがちですが、やはり偏りが出てはと野菜物を多く摂るようにして栄養管理をしています。寮生活ではキッチンやリビングなどを共有しなければいけません。いつ使うのかというスケジュールや使い方に気を付けています。

イギリスに到着してから驚いたことが3つあります。1つ目はイギリス料理です。イギリス料理は他の国の食事と比べて美味しくないので聞いていたので、美味しさに驚きました。野菜とメインが一緒になったプレートやサンドウィッチなどの軽食まで様々な料理を食べてみましたが、どれも絶品でした。2つ目は余りお札や硬貨を使わないということです。アップルパイやカードを使う人が多いのでスーパーなどのチェーン店ではお札や硬貨が使えないセルフレジしかないことが多いです。カードの便利さを改めて知りましたが、まだまだお札や硬貨を使っている日本人としては海外の歴史上の人物のお金に触れたいと感じました。3つ目は、現地の方が横断歩道のないところを車が走っていなければ平気な顔をして渡ることです。慣れていない私にとっては少し危険に感じます。

リーズは芸術の街で、大学内にある建物はデザインがユニークで古い建物も多くあります。そのような環境の中で勉強することができ毎日癒されながら学習しています。また、リーズの中心地にもビクトリア時代から存在する建物があり壁画が多くみられ、歩いているだけでもワクワクする雰囲気です。リーズの中心地は大学から歩いて約15分でアクセスが良く、観光やショッピングに行くのにとっても便利です。私はさらに歴史を感じたく美術館、古くからあるアーケードや建物にたくさん訪れています。帰国するまでにイギリスの歴史、リーズの街にたくさん触れていきたいと思っています。



東義大学（韓国）
法学部 法学科 2年
【交換留学】留学期間：2021年8月～2022年6月

私は高校生の時から韓国留学をしようと考えていました。きっかけは単純で、K-POPを好きになったからです。好きなアイドルと韓国語で話してみたり、日本語字幕なしで動画を観てみたいなと思い、初めは独学で勉強していました。しかし、独学では限界もあり、現地に行って現地の方と話すことが一番語学力の向上に繋がると思いました。また、私には特技がなかったのですが、昔から語学には興味があり、日本語以外の言語を話せるようになって、特技と言えるようになりたいなと思っていました。

私は語学を主に学びたく、自分の学びたいことと一番合っているのが釜山の東義大学だったので、この大学を選びました。韓国留学をしたい方はほとんどがソウルの大学を選ぶと思うので、ソウルにはどうしても日本人が集まりやすいですが、釜山に行く人は少ないので、グローバルな友達を作りやすいのが釜山留学の良いところだと思います。私自身、日本人の友達もいますが、韓国人、モンゴル人、ドイツ人、台湾人、フランス人と様々な国の友達を作ることができました。

とても望んでいた留学でしたが、やはり現実は甘くなく、留学初日から言語の壁を感じ、隔離期間中は毎日不安と焦燥感に駆られていました。私はコロナ真ただ中での留学だったので、通常の入国審査とはだいぶ変わっており、入国してから韓国語を聞く機会が多かったです。ですが、まだ全然聞き取ることのできない私は、何を聞かれているのかもわからず、わかってもどう答えればいいのかわかりませんでした。隔離期間中に少しでも語学力を伸ばそうと思い、勉強し、隔離後の生活では隔離期間中に覚えた単語や文法を使って話したり、聞き取ることができました。ドイツ人の友達が韓国語がとても喋れるので、その友達と話しながら単語を覚えることも多いです。



私は今まで自分から話しかけて友達を作ったことがないくらいとてもシャイな性格なので、友達ができるか本当に不安でした。ですが、留学では性格を変えようと思い、積極的に話すようにしていました。そのおかげで沢山友達を作ることができ、毎日楽しい日々を過ごせています。なので、留学を考えている方、特に私のようにシャイな方には、留学では積極的に行動することが本当に大事だということをアドバイスしたいです。また、留学していなかったら絶対に出会うことのできた人達に出会うことができるので、留学を悩んでいる方は、是非新しい世界に飛び込んでみてください！